

令和5年8月31日

赤潮による上天草市の被害状況と対応

令和5年6月に八代海域で発生した有害プランクトンによる赤潮で、上天草市で養殖業を営む漁業者が被害を受けました。

内容の詳細について、以下のとおり報告します。

1 赤潮発生状況

6月14日 八代海にシャットネラ属の警報が発令。

八代海にコクロディニウム・ポリクリコイデスの注意報が発令。

6月21日 八代海にコクロディニウム・ポリクリコイデスの警報が発令。

6月26日 八代海にカレニア・ミキモトイの警報が発令。

現在も警報継続中であるが、原因プランクトンの細胞数は減少傾向。

2 被害状況

6月24日に上天草市・天草市において赤潮による被害発生。その後、断続的に被害が発生し、上天草市では、8月30日現在でシマアジ・カンパチ・マダイなど約31万匹がへい死し、推定被害額は3億円超となっている。

3 有害プランクトン

コクロディニウム・ポリクリコイデス 100細胞/mlで注意報、500細胞/mlで警報。

シャットネラ属 5細胞/mlで注意報、10細胞/mlで警報。

カレニア・ミキモトイ 100細胞/mlで注意報、1,000細胞/mlで警報。

4 対応

6月19日からは、赤潮の原因となる有害プランクトンの減少に効果がある改良型粘土の散布を、熊本県海水養殖漁業協同組合や地元養殖業者、地元漁協が中心となり、龍ヶ岳地先で実施。



(連絡先)

経済振興部みなと・水産課

担当：山下課長、洲崎

電話：0964-26-5532

FAX：0964-56-4972